

図 3.2.1 浅川ダム試験湛水実績図

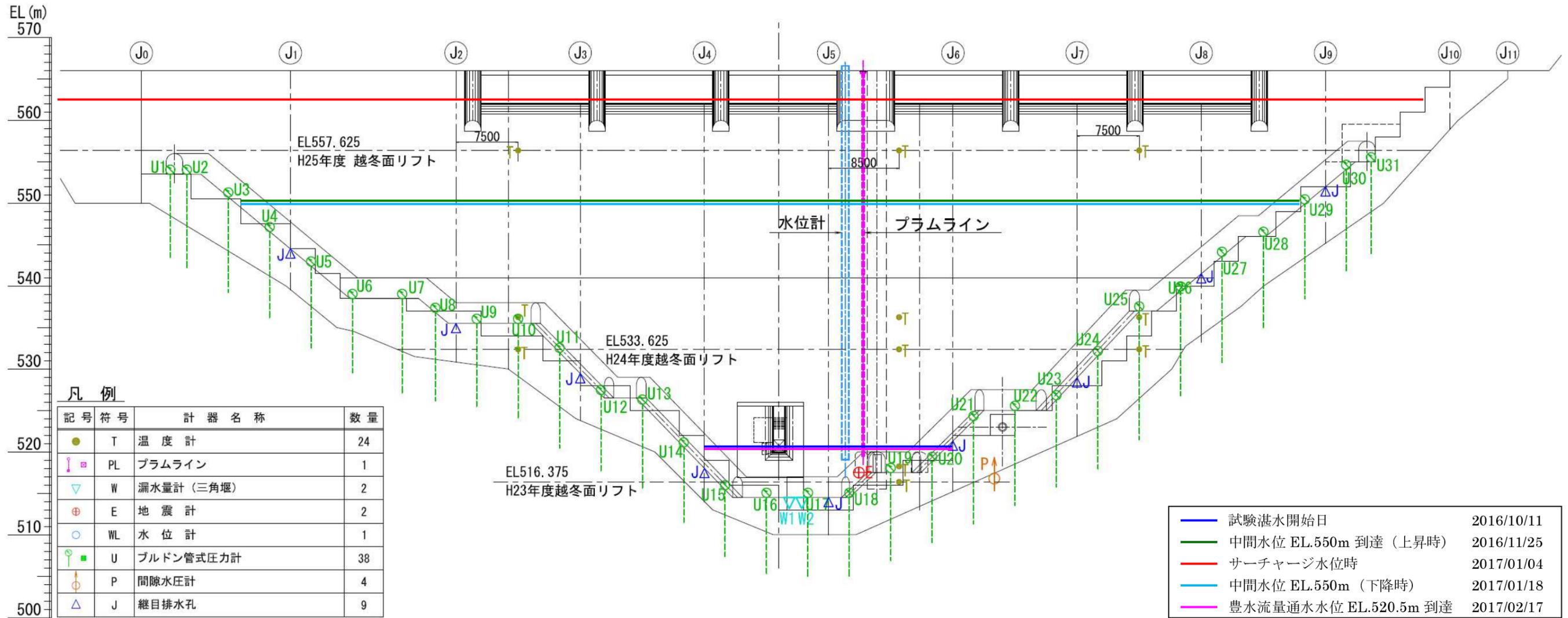


図 3.2.2 計測器の設置配置図及び主要貯水位到達日

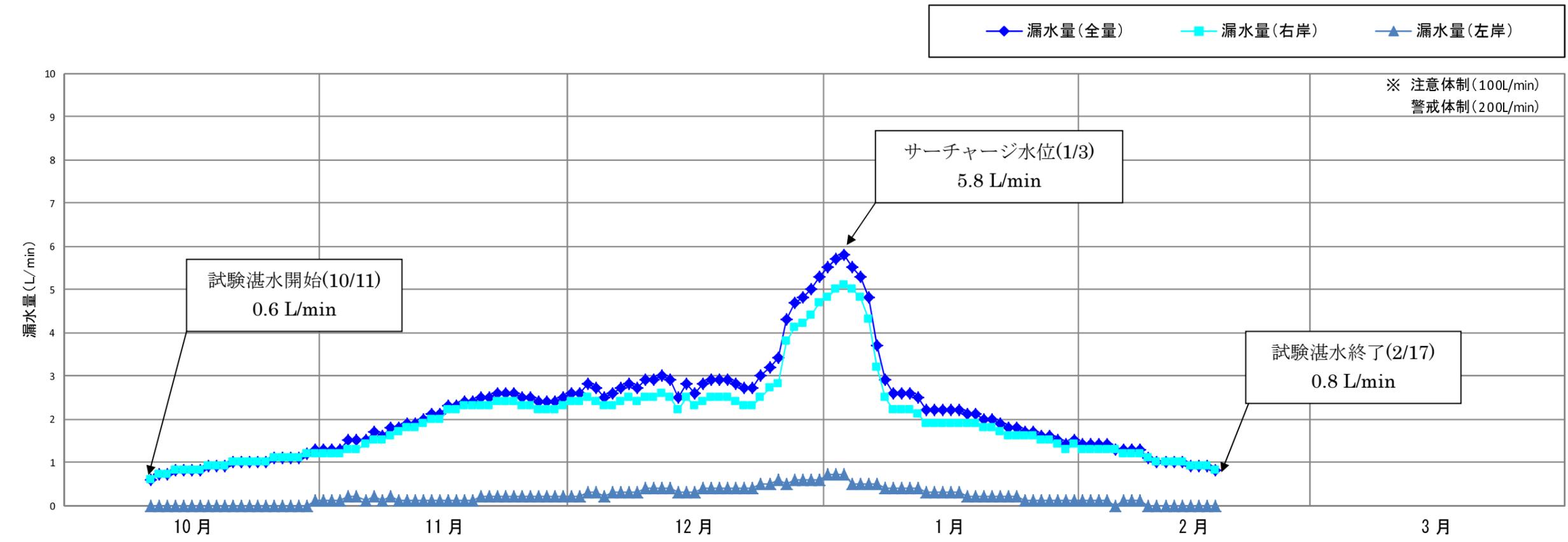
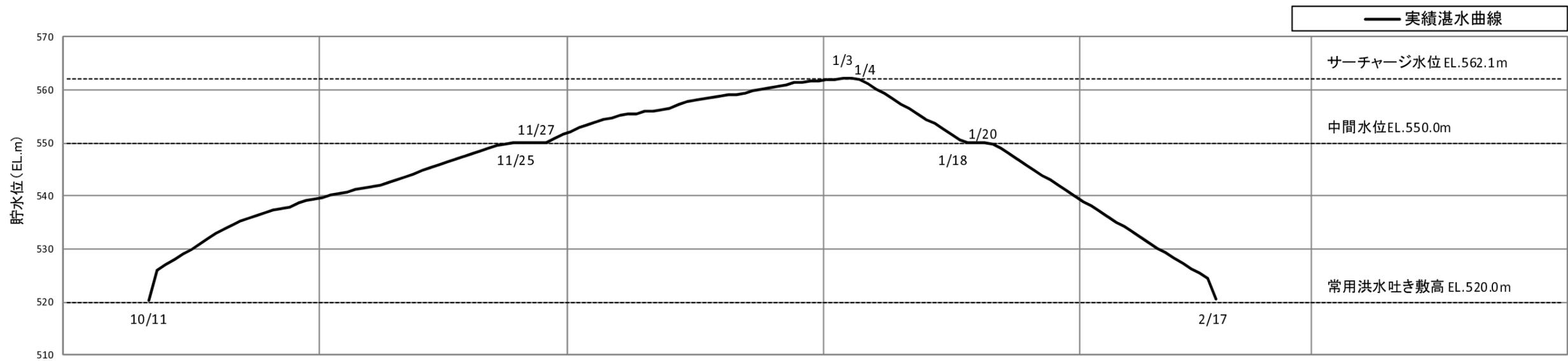


図 3.2.3 浅川ダム漏水量経時変化図

3.3 計測結果

(1) 全体漏水量

河床部で計測した三角堰による全体漏水量は、以下に示すとおり。

- 監査廊河床部に設置した三角堰による全漏水量（左右岸三角堰の合計）は、サーチャージ水位時に最大 **5.8L/min** を記録し、その後水位低下とともに減少し、試験湛水終了時には漏水量 **0.8L/min** となった。
- 左岸側からの漏水量は、サーチャージ水位到達時に最大漏水量 **0.7L/min** を記録したが、水位低下に伴い漏水量は減少し、試験湛水終了前の平成 29 年 2 月 9 日には **0.0L/min** となった。
- 右岸側からの漏水量は試験湛水開始当初 **0.6L/min** であったが、貯水水位上昇に伴い漏水量は徐々に増加し、サーチャージ到達時には最大の **5.1L/min** を記録した。その後、水位低下に伴い漏水量は減少し、試験湛水終了時には **0.8L/min** となった。
- 漏水に濁り、白濁等の変状は認められなかった。

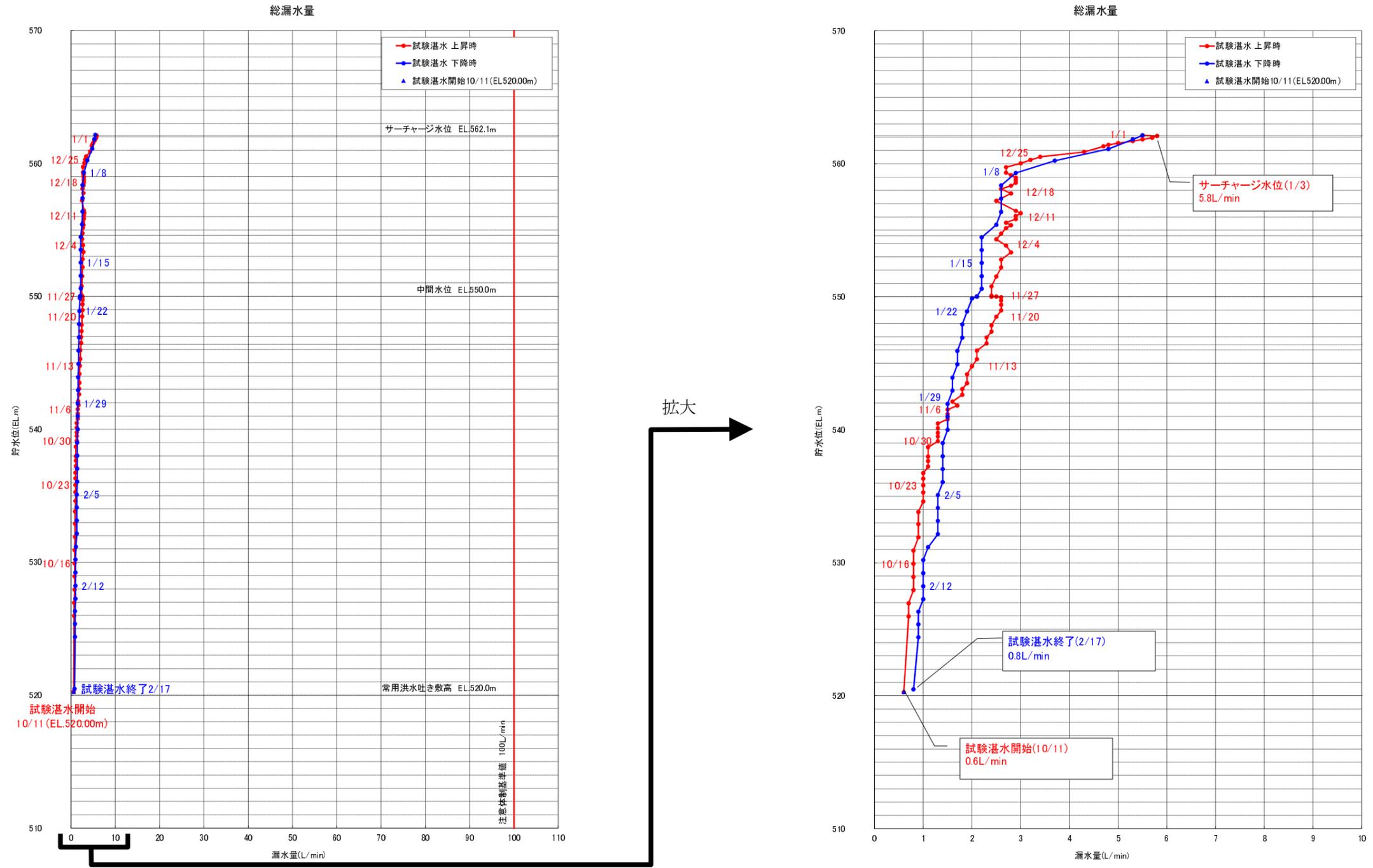


図 3.3.1 総漏水量（三角堰）